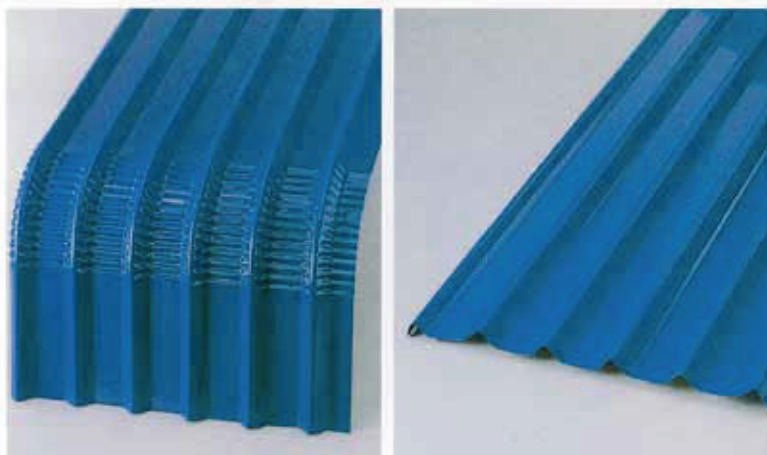


エパール7[®] やまなみ3型

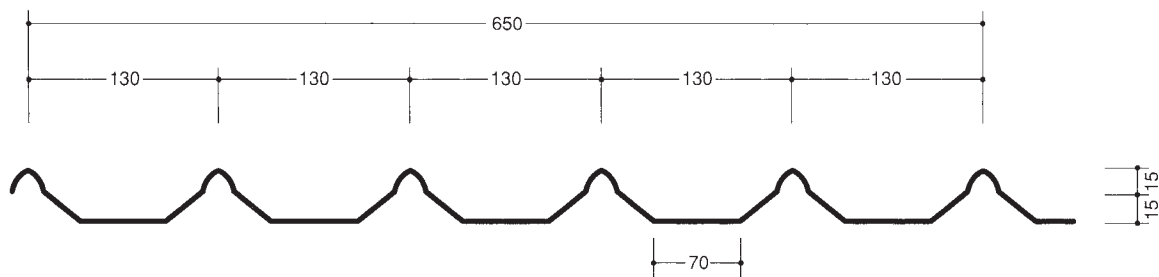
(既設大波スレート改修
・新築・葺替用)

■特長

- 既設大波スレートをはがさず、直接重ね葺きができます。
- 工場、倉庫、体育館、事務所等の操業、営業を中断することなく、工事ができます。
- 美しく耐久性のよい金属屋根に生まれ変わります。
- 強風、地震に強く、雨漏りは皆無となります。
- 対流システム工法により屋根の温度上昇を防ぎ室内を涼しくします。



■断面形状



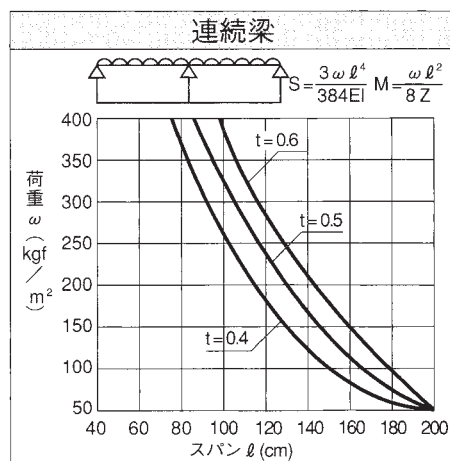
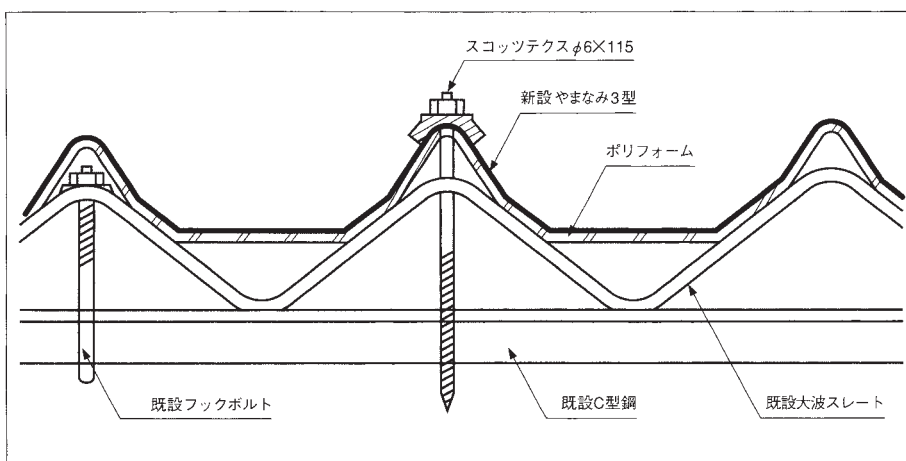
■断面性能

板厚 (mm)	単位重量		断面2次 モーメント Ix (cm ⁴ /m)	断面係数 Zx (cm ³ /m)
	kg/m	kg/m ²		
0.4	3.15	4.84	3.99	2.08
0.5	3.87	5.95	5.34	2.7
0.6	4.58	7.05	6.89	3.36

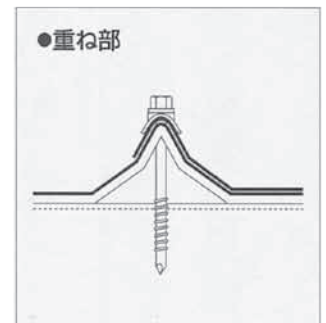
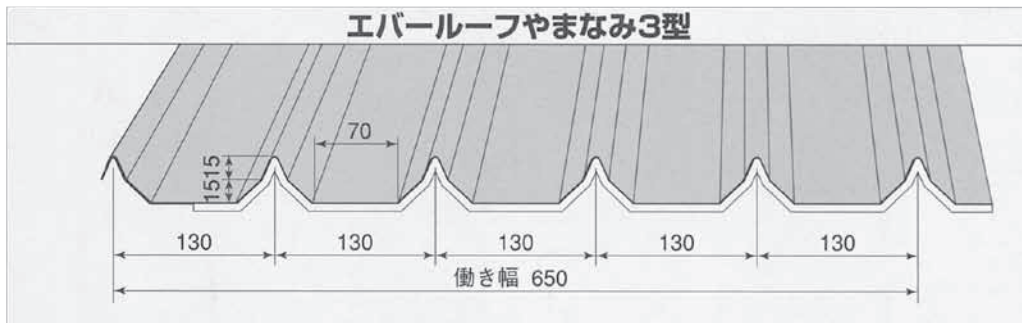
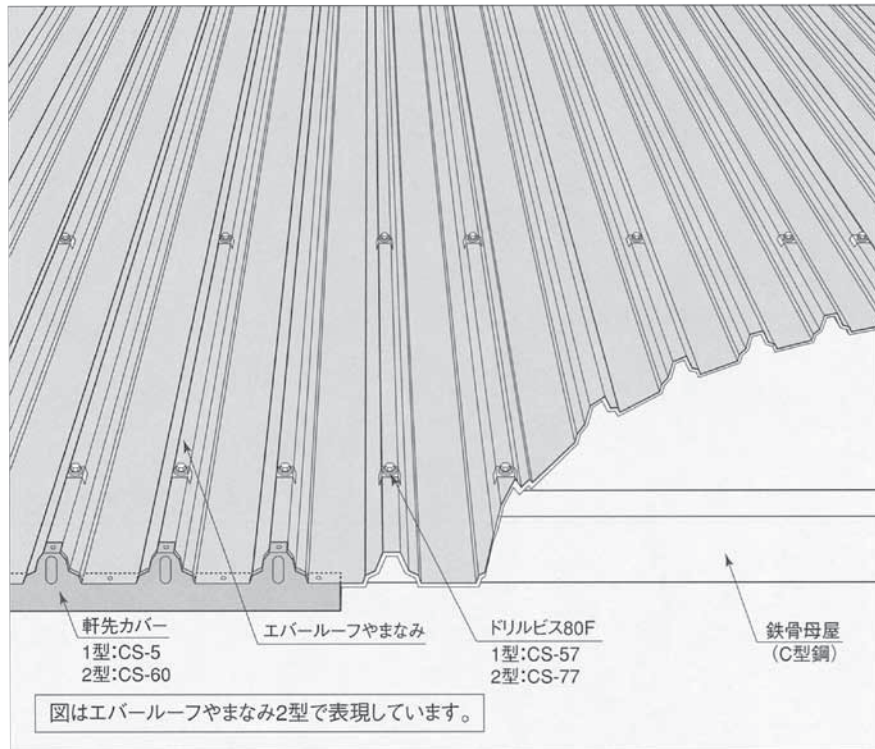
■使用材質

仕様	原板	板厚
塗装	鋼板系	0.4mm~0.6mm
ステンレス系		0.4mm~0.5mm

■直接固定工法



新築・葺替え工法



標準仕様

工法	間接固定工法	直接固定工法	新築・葺替え
原板	高級塗装鋼板、ガルバリウム鋼板		
板厚	0.5mm・0.6mm	0.4mm・0.5mm・0.6mm	0.5mm・0.6mm
板幅	914mm		
働き幅	650mm		
標準勾配	3/10以上		

耐風圧性能

(1) 試験体

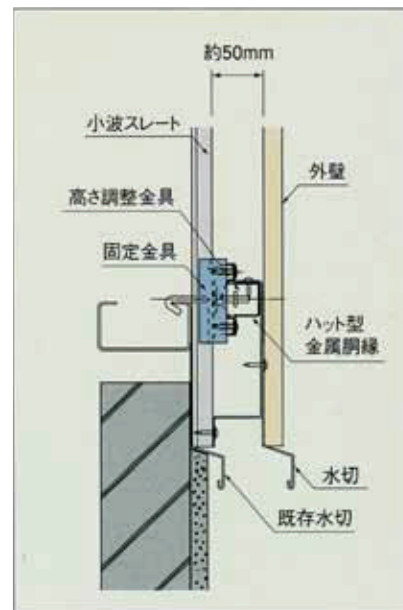
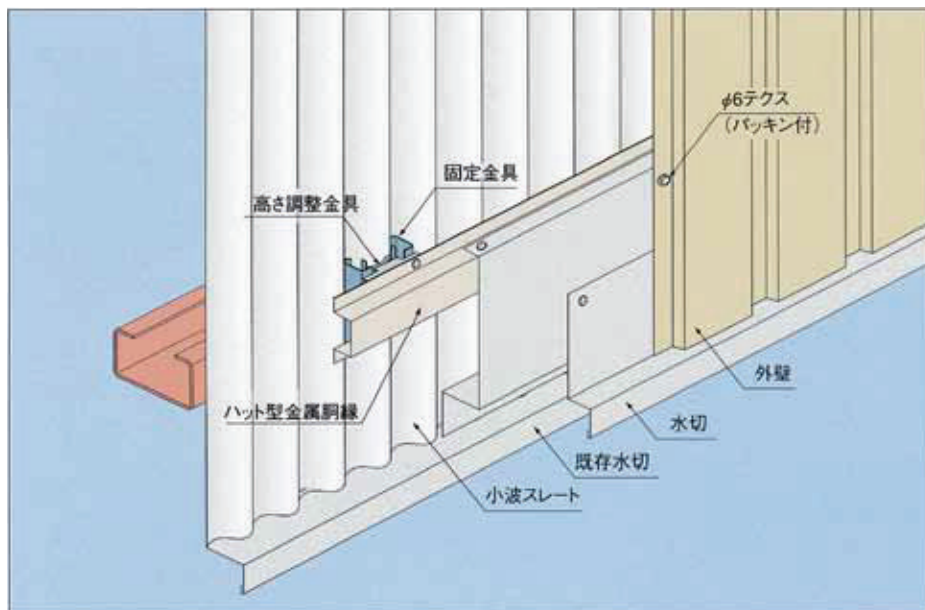
	仕様
試験体	エバールーフやまなみ、塗装鋼板製 板厚 t=0.5mm
枠体寸法	W1870mm×H1870mm
母屋間隔	連続支持835mm

(2) 試験結果

試験体板厚	負荷荷重	状況
0.5mm	1000kgf/m ²	試験体に破壊等は認められなかった。

※耐風圧性能については試験値であり保証値ではありません。

ウォール・スライドイン工法 (間接固定)



■特長

1. 既存小波スレート壁に穴をあけずに施工可能!

・既存フックボルトを利用し、専属金具を固定し下地を構成してゆくため、既存小波スレートにダメージを与えることはありません。

※ 既存建物の状態により穴をあける場合があります。

2. 専用工具によるスムーズな固定!

・既存フックボルトワッシャー部にスライドさせ固定しますが、専用工具を用いることにより不要な打撃を抑え、小波スレートへの損傷を防ぎ、スムーズに挿入できるため、作業性も向上します。

3. 工事中でも営業や操業が可能!

・施工中もアスベストを含む粉塵等を室内へ飛散させない工法なので、室内養生の必要もなく、建物内での業務は継続して行えます。

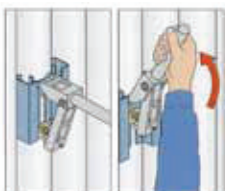
4. 既存フックボルトの切断作業が不要!

・固定金具、下地部材を用いることで、既存フックボルトの余長分と干渉せず、面倒な切断作業は不要です。

5. 下地構成時に不陸調整が可能!

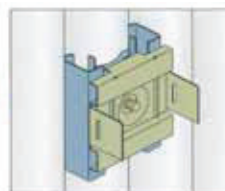
・スレートの重なりによる不陸を、高さ調整金具で調整し、壁面での不陸を最小限に留めます。

■施工手順



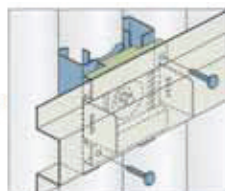
①固定金具の設置

専用工具を固定金具にセットします。フックボルトが固定金具の中央にくるまで専用工具を押し上げます。



②高さ調整金具の設置

フックボルトに高さ調整金具中央にあいている穴の部分差し込みます。



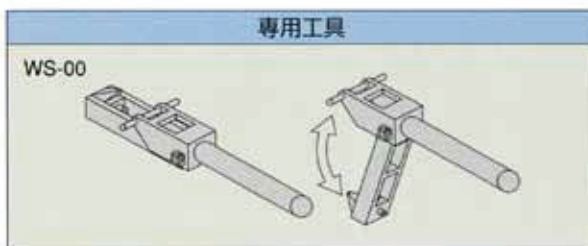
③ハット型金属鋼縁の固定

ハット型金属鋼縁を高さ調整金具に差し込みます。シンワッシャーテクスを用いて固定金具に止め付けます。

■純正部材例

固定金具	ハット型金属鋼縁
<p>WS-01</p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：1.6mm</p>	<p>WS-04</p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：1.2mm 長さ：3175mm</p>
高さ調整金具 (8mm タイプ)	高さ調整金具 (16mm タイプ)
<p>WS-02</p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：0.8mm</p>	<p>WS-03</p> <p>材質：亜鉛めっき鋼板 板厚：0.8mm</p>

※他の部材は設計・施工マニュアルをご覧ください。



WS-00

専用工具

やまなみ3型標準納め図

